



地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議

環境と共生した豊かな美ら島づくりをめざして

2013年 **6/29** (土)
 13時～17時 ●公開シンポジウム

6/30 (日)
 8時30分～12時30分 ●専門家会合
 14時～15時 ●全体総括、閉会

場所：沖縄科学技術大学院大学(OIST)
 (日) <http://www.oist.jp/ja/node/1396> / (英) <http://www.oist.jp/access-map>

※参加費無料



主催：環境省、沖縄県 / 共催：沖縄科学技術大学院大学(OIST)、琉球大学

協賛：(株)イーエーシー、イオン琉球(株)、いであ(株)、(有)沖縄環境地域コンサルタント、(株)沖縄環境保全研究所、沖縄県衣類縫製工業組合、一般財団法人 沖縄県環境科学センター、
沖縄県生コンクリート工業組合、一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー、(株)沖縄チャンドラー、沖縄電力(株)、オリオンビール(株)、(株)建設技術研究所沖縄支社、
(株)南西環境研究所、日本工営(株)沖縄事務所、(株)バスコ沖縄支店、八千代エンジニアリング(株)沖縄事務所
後援：NHK沖縄放送局、(株)エフエム沖縄、(株)沖縄タイムス社、沖縄テレビ放送(株)、宮古新報(株)、(株)宮古毎日新聞社、(株)八重山日報社、(株)八重山毎日新聞、
(株)ラジオ沖縄、琉球朝日放送(株)、(株)琉球新報社、琉球放送(株)

[詳細は裏面をご覧ください]



International Conference on Climate Change and Coral Reef Conservation

地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議

環境と共生した豊かな美ら島づくりをめざして

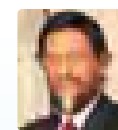


地球温暖化による影響を特に受けやすい島しょ地域とそれをとりまくサンゴ礁について、
沖縄を含む関係各国・地域からの参加者間で、今後とるべき対策や方向性を議論します。
6月29日及び30日とも一般公開で行います。

6/29 (土) 2013年 (敬称略)
 13時～17時 ●公開シンポジウム

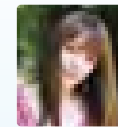
場所：沖縄科学技術大学院大学(OIST講堂)
 挨拶 環境大臣：石原 伸晃
 沖縄県知事：仲井眞 弘多
 沖縄科学技術大学院大学学長：ジョナサン・ドーファン

基調講演：ラジェンドラ・パチャウリ
 「気候変動の予測及び海洋生態系に対する影響」
 (IPCC[気候変動に関する政府間パネル]議長/インド)



ラジェンドラ・パチャウリ氏

特別対談：今井 絵理子
 SPEEDのメンバー、ソローアーティスト
 としても活動の他、講演会、執筆など、
 活躍の場を広げている。



今井 絵理子氏

[パネルディスカッション]

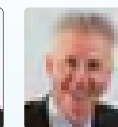
司会：涌井 史郎 (東京都市大学環境情報学部教授)
 「自然と共生する島、島国のあり方～温暖化対策とサンゴ礁保全から考える」

[パネリスト]

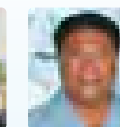
アンドリュー・スキート (グレートバリアリーフ海洋公園局長/オーストラリア)
 エルブエル・サダン (官房長官・環境保護協会理事/パラオ)
 大城 肇 (琉球大学学長)
 開 梨香 (NPO法人 日本エコツーリズム協会理事)
 マリヤム・シャキーラ (環境エネルギー大臣/モルディブ)



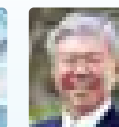
涌井 史郎氏



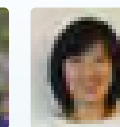
アンドリュー・スキート氏



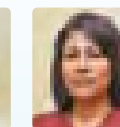
エルブエル・サダン氏



大城 肇氏



開 梨香氏



マリヤム・シャキーラ氏

6/30 (日)

8時30分～12時30分 ●専門家会合 [分科会セッション]

パート1 8:30～10:20(110分)

[分科会 1] サンゴ礁保全 (会場：セミナールーム C209)

●イムナン・ゴルブー (パラオ国際サンゴ礁センター長/パラオ) ●鹿熊 信一郎 (沖縄県水産海洋技術センター 普及班長) ●佐藤 矩行 (OIST[沖縄科学技術大学院大学]教授) ●田村 實 (独立行政法人 国際協力機構) ●土屋 誠 (琉球大学理学部教授) ●ルーク・ブランダー (アムステルダム自由大学/香港科技大学/香港)

[分科会 2] 沖縄、島しょ地域における温暖化対策 (会場：セミナールーム C210)

●エサラ・ナヤシ (外務省政務・条約局長/フィジー) ●堤 純一郎 [司会] (琉球大学工学部教授) ●野口 市太郎 (長崎県五島市長) ●山家 公雄 (エネルギー戦略研究所(株) 取締役 研究所長) ●ラムネート・チャイクワント (サムイ島市長/タイ) ●レオ・クリステンセン (ロランエナジーホールディング副社長/デンマーク)

パート2 10:40～12:30(110分)

[分科会 3] サンゴ礁エリア島しょ地域のエコツーリズムの現状と展望 (会場：セミナールーム C209)

●石垣 昭子 (NPO法人 西表島エコツーリズム協会会長) ●海津 ゆりえ (文教大学国際学部教授/NPO法人 日本エコツーリズム協会理事) ●ジョハネス・スピジヤント (コーラル・トライアングル・センター次長/インドネシア) ●中村 圭一郎 (アーストリップearthtrip 代表/株式会社 アンカーリングジャパン 代表取締役) ●ラルフ・バックリー (グリフィス大学教授/オーストラリア)

[分科会 4] 温暖化影響への適応 (会場：セミナールーム C210)

●高村 ゆかり (名古屋大学大学院環境学研究科教授) ●堤 純一郎 [司会] (琉球大学工学部教授) ●デイビッド・シェパード (太平洋地域環境計画事務所長/サモア) ●ポ・ボ・ウォン (アデレード大学 客員准教授/シンガポール) ●山野 博哉 (独立行政法人 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生物多様性 保全計画研究室長) ●レオナルド・ナース (資源管理・環境科学センター 主任講師/バルバドス) ●ロジャー・マククリーン (ニューサウスウェールズ大学教授/オーストラリア)

サイドイベント 持続可能な島しょに向けた気候変動及び災害リスク軽減のための自然を基礎とする対策

(13時15分～13時45分) ●ムルティ・ラディカ (IUCN [国際自然保護連合] プログラムコーディネーター/スイス) ●茅根 創 (東京大学大学院理学系研究科/地球惑星科学専攻 教授)

全体総括、閉会 (14時～15時) (会場：セミナールーム B250)

※応募方法：下記URLに掲載の参加申込書により下記FAX番号まで申込むか下記メールアドレス又はFAX番号まで[1]氏名(日本語及びローマ字表記)、[2]所属、[3]住所、[4]電話番号[5]メールアドレス又はFAX番号、[6]参加希望日程(30日に参加希望の場合は参加予定の分科会番号も含む)、[7]交通手段(当日は県庁～OIST間の借り上げバスも運行します。29日：県庁11:20発 OIST17:30発、30日：県庁6:50発 OIST15:30発)を記載の上、お申し込みください。(いずれか記載がない場合、受け付けできないことがあります) ※当日は身分証明書の提示をお願いします。

*全プログラムに日英同時通訳がつきます。URL: <http://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/icccrc2013/>

連絡先：地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議運営事務局 TEL 098-869-4220/FAX 098-869-4252/ Mail: coral-sympo2013@okicongre.jp